興南高校56期 フロンティアコース

仲村あかり

山口大学

教育学部特別支援学科へ進学

興南中学校出身
吹奏楽部部長

＊吹奏楽部の部長として

二〇一七年の夏の甲子園県予選決勝で、興南の攻撃が終わらずにずっと演奏して、唇を痛めたけど楽しく演奏できたのはいい思い出。

吹奏楽部に6年間所属し、高校では部長になり、皆をまとめる立場になって色々成長させてもらった。皆の意見を聞き、自分の意見を皆に伝えることの難しさ、大切さを学んだ。

部員が少なかったが、中2のころから学校内でのミニコンサートを開き始めて部員も徐々に増え、高1のときには夢だったコンクールにも出場できた。惜しくも九州派遣は逃したけども、それに向けての練習は今でも思い出に残っている。

―フロンティアコースとは？―

中高と6年も一緒だからもう家族。悩み事を相談しても、自分のことをわかってくれてる人がいて、自分のダメなところもわかってくれてる友達がいるのは心強かった。

―興南はどんな学校？―

興南に入って良かった。先生に恵まれていた。進路の話や、部活の話などの悩みを親身になって聞いてくれた。地元にずっといるよりも色々な所から学校にくる友達と触れ合えたので価値観が広がった。中高6カ年で同じ先生方だから、担任じゃなくても気にかけてくれる先生方が多かったのはありがたかった。

―大学受験どうだった？―

特別支援の小論文対策をやっていたら、当日のテストのテーマにそのままでてきて自信をもって取り組めた。逆に面接は練習していたことが何一つ聞かれずに緊張したけど、自分が学んだことをしっかりと伝えることができて、合格することができた。特別支援学校については、小論文で対策のためにやっていたけど、現状などを知ることができ、とてもためになった。

―これからの目標は？―

小学生の時、自閉症の方に出会って、そこから特別支援学校に興味を持った。高2の時に障がいを持っている子どもたちがいる児童園にいった。子どもたちの成長に長く関われる教員になりたいと感じた。将来は大学院にいき、臨床心理士の免許を取得し、現場で障がいがある子たちに寄り添うことができる教員になりたい。そして発達障害について世の中に伝えることができる活動もしていきたいと思っている。